

雜報

●會員動靜

敘從三位

正四位勳四等

荒木蒼太郎

從五位勳三等功五級

橘久三郎

從五位勳四等

三河內諄一

敘正五位

正六位勳四等

三木徳次

正四位勳四等

荒木蒼太郎

陸軍二等軍醫正從五位勳三等功五級

橘久三郎

陸軍一等軍醫正從五位勳四等

三河內諄一

陸軍三等軍醫正正六位勳四等

三木徳次

特旨ヲ以テ位一級被進

(四月二十日)

岡山醫科大學助手

増野純亮

內科學研究ノ爲滿二年間瑞西國獨逸國及英吉利國へ在留ヲ命ス

岡山醫科大學助手

小林孫兵衛

內科學研究ノ爲滿一年半間西瑞及獨逸國へ在留ヲ命ス

(四月十九日)

岡山醫科大學長

藤田秀太郎

(四月二十四日)

93 歐米各國へ出張ヲ命ス

雜報

休職被仰付但吳ニ滯在スヘシ

海軍軍醫大尉 泉松之助

免夕風乘組兼時雨乘組補臨時海軍防備隊附

海軍軍醫中尉 三宅正一 (五月一日)

補陸軍造兵廠小倉兵器製造所廠員

陸軍三等軍醫 佐藤鳴海 (五月二日)

免本職橫須賀鎮守府被仰付

第九驅逐隊軍醫長海軍軍醫大尉 長谷川靜一

兼補橫須賀海軍病院部員

橫須賀鎮守府附海軍軍醫大尉 長谷川靜一 (五月八日)

敘正五位

從五位勳三等功五級

濱島秀梧 (四月三十日)

陸軍一等軍醫正從五位勳三等功五級

濱島秀梧 (四月十三日)

特旨ヲ以テ位一級被進

海軍軍醫少尉 有馬玄

免金剛乘組補橫須賀海軍病院部員

(五月十日)

正六位勳四等

石原貫一

正六位勳四等

江木健三

敘從五位

陸軍二等軍醫正正六位勳四等

石原貫一

海軍軍醫中佐正六位勳四等

江木健三 (四月三十日)

特旨ヲ以テ位一級被進

三七五

- 佐藤次郎君 多年北米衆國シアトル市に於て開業し居られし同君は今般英、佛、獨國に遊學せらるゝ由
- 櫻井郷三君 は今般九州帝國大學醫學部第二外科に勤務せられたり
- 伊藤幸憲君 豫て歐米諸國に留學中なりし同君は先般無事歸朝せられ今回岡山醫科大學病理教室に於て研究せらるることとなりたり
- 中野功君 は今般神戸市上筒井通一丁目高橋病院に勤務せられたり
- 村田保常君 は豫て山梨縣立病院に勤務し居られしが先般東京帝國大學醫學部病理學教室に勤務せられたり
- 高橋統閔君 は岡山醫學專門學校時代より生理學教室に於て研究中なりし同君は今般同教室を辭し東京佐々木杏雲堂病院に勤務せられたり
- 今川誠一君 は豫て日本赤十字社香川支部病院に勤務し居られしが今般神戸市役所教育課に轉勤せられたり
- 八木忠亮君 姫路歩兵第三十九聯隊に見習醫官として勤務中の同君は去月一日退營、今回大阪回生病院池田分院に勤務せられたり
- 池田正行君 は今般青森縣警察部衛生課に勤務せられたり
- 藤島新二君 は昨年岡山醫科大學專門部を卒業以來九州帝國大學醫學部に勤務し居られしが先般南滿鐵道瓦房店病院に轉勤せられたり
- 菱田昌雄君 は見習醫官として京都歩兵第三十八聯隊に入營中の處去月一日退營し今回神戸市西代天兒病院に勤務せられたり
- 上田慶一郎君 は豫て慶應醫科大學産婦人科に勤務し居られしが今般福岡縣築上郡椎田病院長として就職せられたり
- 池田正夫君 は大正九年岡山醫學專門學校を卒業し直ちに岡山縣病院内科に勤務し今日に至りしが今回九州大學醫學部病理學教室に勤務せられたり
- 美木俊雄君 曩日歸朝せられたる同君は神戸市腕塚町二丁目に於て開業せられたり
- 前川鼎君 は大正六年岡山醫學專門學校卒業以來岡山縣病院及岡山醫科大學附屬醫院内科に勤務し居られしが今般其職を辭し當市小橋町に於て開業せられたり
- 秋本運眺君 は豫て岡山醫科大學附屬醫院産科婦人科に勤務し居られしが今般愛媛縣新居郡西條町西條病院に勤務

せられたり

○土井浦二君 は豫て岡山醫科大學附屬醫院内科に於て研究中なりしが先般同院を辭し郷里廣島縣御調郡三庄に於て開業せられたり

○三浦正臣君 は今般愛媛縣上浮穴郡小田町村に於て開業せられたり

○秋山實君 は豫て高知市楠病院に勤務し居られしが今般辭職同縣本山町に於て開業せられたり

○池浦義夫君 は今般香川縣綾歌郡府中村に轉居せられたり

○和田直吉君 は今般愛媛縣東宇和郡多田村に轉居せられたり

○井上誠夫君 は先般東京市赤坂區溜池町の本宅類焼に罹りたるを以て新築落成迄麴町區永田町二丁目に轉住せられたるの通り診療に従事せられたり

○竹本巖君 は今般廣島市稻荷町に移轉せられたり

品川正三君逝く 君は明治三十年第三高等學校醫學部を卒業し陸軍に出仕し後官を辭し開業し居られしが今回其訃音に接したり洵に哀悼に堪へざるなり

渡邊頼男君逝く 君は明治三十四年岡山醫學專門學校を卒業し海軍に出仕し居られしが數年の後官を辭し郷里本縣川上郡成羽町に於て開業し居られしが去月二十八日急病を以て遠逝せられたりと洵に痛惜に堪へざるなり

●學位授與決定 賀川哲夫君は豫て東京大學醫學部に論文を提出し醫學博士の學位を請求し居られしが去月三十日の同學部教授會に於て學位授與の決定ありたり其主論文は左の如し

革外線ニ依ル補體非働現象ノ「メハニスムス」ニ就テ

●山口縣在住岡山同窓會 四月二十二日山口縣防府町に開催せられたる第十回山口縣醫學會に列席したる當縣在住の岡山醫學專門學校卒業生は中食の時間を利用して學會場たる縣立高等女學校玄關前に集合して記念撮影をなしたる後一同打ち連れて三田尻驛前「カフェー」山陽樓に會して食卓を開き舊を語り新を談して烏城の空を偲びつゝ和氣靄々の内に一同會場へ引き上げたり、本日會する者は明治二十三年卒業の末野縣會議員外十三名にして其姓名は左の如し。

因に云ふ學會に出席せる同窓生にして林正樹、齋藤忠治、三吉英雄外數名は止むを得ざる事情の爲め同窓會に出席し得ざりしもの

ありしは遺憾なりき

(出席者)

- 末野包 槌
- 杉 右 一
- 久保辰 治
- 岡村善 三郎
- 岡村 儀 人
- 中村吉 太
- 財満平 也
- 武波晋 一
- 藤野直 亮
- 小高與 吉
- 彌政竹 雄
- 登坂清 喜
- 山縣 修
- 柳 義 雄



岡山醫學會彙報

岡山醫學會通常會

本會通常會は岡山醫科大學各教室集談會と合同し本月二十四日午後三時より岡山醫科大學附屬醫院臨牀講義室に於て開會せり田村庶務主幹開會を報じ直ちに左の演説に移る

第一席 大網膜に發生せる巨大なる肉腫(供覽)

佐野 進君

演者は内外文獻を參考として大網膜に發生する肉腫の比較的稀なることを説明し巨大なる肉腫を供覽せり。(自抄)

第二席 輸尿管開口部の脱出せる膀胱腔瘻の治癒例

河田 豊君

四回手術を受け治癒せざりし膀胱腔瘻患者に膀胱鏡検査を行ひしに、右側輸尿管開口部が瘻孔縁にあるを發見し、之に注意して手術せしため好結果を得たる一例を報告し、尿瘻手術に膀胱鏡検査の必要なる事を力説せり。(自抄)

第三席 所謂排卵痛に就きて

醫學博士 安藤 畫一君